

お取引先様各位

2021年1月吉日
株式会社 向山工場
技術管理部 品質管理課

JIS G 3112 改正についての対応

2020年4月20日付けにて 「JIS G 3112 鉄筋コンクリート用異形棒鋼」 が改正となりました。

認証機関による認証維持を受け 2021年2月26日（金曜日）より“SD295”にて製造を開始いたします。

よって、3月1日（月曜日）より弊社から出荷されます製品は“SD295”となります。

①種類の記号及び化学成分

表 1

JIS G 3112 : 2010

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	C+Mn/6
SD295A	-	-	-	0.050以下	0.050以下	-
SD295B	0.27以下	0.55以下	1.50以下	0.040以下	0.040以下	-
SD345	0.27以下	0.55以下	1.60以下	0.040以下	0.040以下	0.50以下
SD390	0.29以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.55以下
SD490	0.32以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.60以下



JIS G 3112 : 2020

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	炭素当量
SD295	0.27以下	0.55以下	1.50以下	0.050以下	0.050以下	-
SD345	0.27以下	0.55以下	1.60以下	0.040以下	0.040以下	0.60以下
SD390	0.29以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.65以下
SD490	0.32以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.70以下

新しく C、Si、Mn の上限値が設定されましたが、この上限値までの成分値にて製品を製造する事は無く、これまでご使用頂いた SD295A 製品と変わらない、管理された製品を製造して参ります。(表 1 参照)

②旧規格では SD345 以上について表記されていた化学成分 $C+Mn/6$ が、新規格では C_{eq} (炭素当量) となりました (表 1 参照)

※ 炭素当量 $C_{eq}=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14$

③新規格では機械的性質にて新規「降伏比」が採用され SD345 以上について降伏比 80%以下と規定されました。

弊社「鋼材検査証明書 (ミルシート)」において炭素当量 (C_{eq}) 及び降伏比を表記しますが (これまでも $C+Mn/6$ 、降伏比は表記しておりました) これらはメーカーに求められた管理値であり規格に適合する製品をこれまで通り製造して参ります。

※鋼材検査証明書をご確認ください

④新規格では「ねじ節鉄筋棒鋼」が追加されました

※製品の節角度を斜めにする事で“ねじ”のような形状になっています。新規格に「ねじ節鉄筋棒鋼」が追加されましたが弊社では製造を行っておりません。

⑤新規格では新たに SD590A、SD590B、SD685A、SD685B、SD685R、SD785R、SR785 が追加されました

※新たに追加された SD590 以上は国土交通大臣による基準強度が制定されていない為、今後も国土交通大臣認定品です。

SD295A より SD295 に種類の記号が変更になり、また SD345 以上においてメーカーでの管理面が幾分変更になりました。お取引先様にはこれまでと変わらない製品を製造、ご提供して参ります。

詳細については JIS G 3112 : 2020 をご確認ください。

以上

タグ見本

2月28日迄

JIS G3112 JICQA QA0307020	
SD 295A	
鋼番	
寸法	
本数	
製造	
株式会社 向山工場	
JIS G3112 JICQA QA0307020	
	
SD 295A	
鋼番	
寸法	
本数	
製造	
株式会社 向山工場	



3月1日以降

JIS G3112 JICQA QA0307020	
SD 295	
鋼番	
寸法	
本数	
製造	
株式会社 向山工場	
JIS G3112 JICQA QA0307020	
	
SD 295	
鋼番	
寸法	
本数	
製造	
株式会社 向山工場	